

止まり木



令和7年（2025年）

9月1日発行

第20号

大阪市立野田中学校

タイム イズ マネー
Time is money

2学期が始まったと思ったら、早くも1週間がたちました。時間はアツという間に過ぎていきます。みんなに与えられている時間は1日24時間、当然公平な時間であることや過ぎ去った時間を取り戻すことはできないことはよくわかっていると思います。

「時は金なり」、「Time is money」と言われるように大切な時間だからこそ、時間を守らないといけないのです。以下、今日の全校集会でのお話に少し補足をして紹介します。

『「自分ならどう思うか。どうするか。そんなことを考えながら以下の話を聞いてください。ある日曜日、友達と13時に野田駅で待ち合わせをしました。13時になっても13時10分になっても友達はやってきません。13時30分にようやく友達は慌ててやってきて笑いながら「ごめん。ごめん。」と言っていました。翌週、同じ友達と同じく野田駅で13時に待ち合わせをしました。また、13時になっても友達はやってきません。13時10分になってやってきました。その次の週も同じく13時に待ち合わせをしましたが、やはり時間通りにはやってきませんでした。さあ、みんなはどう思いますか？次の待ち合わせの時には、どうせ友達も遅れてくるだろうから自分も遅れていこう。とか、もう2度とその友達とは約束しない。と思いませんか？腹が立つと同時に友達のことを信用できなくなりませんか？そうです。時間を守らないということはこうして**人としての信用・信頼をなくすこと**になるのです。友達が約束の時間に遅れてくると、楽しく過ごす時間が減ってしまいさみしく思います。でも、きちんと守ってくれると、一緒に過ごす時間や自分のことを大切にしてくれているのだなと思えるでしょう。**時間を守るというのは、人を大切にする、人を信用することにもつながってくる**のだと校長先生は思います。遅刻は、一度やってしまうと、何度もしてしまう、常習性の高いものです。一度遅刻を経験してしまうと、次に遅刻するのもこわくなるのです。そのため、遅刻の常習犯になってしまいがちなのです。

先ほども言いましたが、みんなに与えられている時間は1日24時間。それ以上もそれ以下も絶対にありません。その時間の中でやらない理由やできない理由をさがすのがうまくなってしまうとみんなの成長は止まってしまいます。そういう意味でも時間を大切にしてほしいと思います。決して**自分のわがままで回りの人の大切な時間を奪うことのないようにしてほしい**と思います。また時間は、前にしか進まない一方通行です。後戻りはできません。過去を振り返り、自分を見つめることは大切ですが、後悔に時間を使うのは意味がありません。一方通行は、前に進むのがマナーのように時間の流れに沿って、顔も意識も、未来に向かいましょう。これからのために、時間を使うことです。よりよき未来を作るために

時間を費やすことが、最も有益な時間の使い方です。そんな時間の使い方をしてください。』

